

結腸切除術クリニカルパス

様

	手術前々日	手術前日	手術日	術後1日目
観察	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が訪室し、体温、脈拍、血圧を測定します 入院までの経過や、過去の病歴などを聞きに伺います 	<ul style="list-style-type: none"> (手術後) モニターをつけて呼吸、体温、血圧、脈拍、尿量などを観察を行います 傷からの出血がないか適宜観察を行います 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、モニターをはずします 傷の状態、腹部状態、呼吸状態の観察を行います 体温、血圧、脈拍を測定します 	
安静	制限はありません 	<ul style="list-style-type: none"> 手術時間までは病棟内で過ごしてください 手術後は、ベッド上安静です 寝返りはできません 	<ul style="list-style-type: none"> 痛み止めを使いながら、少しずつベッドから離れる練習をします 病棟内を自由に動くことができます 	
食事	食事は医師の指示により形態が変わります。	<ul style="list-style-type: none"> 食事・水分については医師の指示により制限が変わります。その都度医師・看護師より説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事、水分はとることができません 手術後うがいはいつでもできます 	<ul style="list-style-type: none"> 食事、水分はとることができません 
清潔	入浴ができます 	<ul style="list-style-type: none"> 爪切り、入浴を必ずしてください 	<ul style="list-style-type: none"> 手術前、洗面してください 手術後の洗面はベッドの上で行います 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が身体をふきます 
排泄			<ul style="list-style-type: none"> 手術前に排尿をすませてください 手術中、排尿用の管が入ってきます 	<ul style="list-style-type: none"> 排尿用の管が入っています
診察処置		<ul style="list-style-type: none"> おへその掃除をします 	<ul style="list-style-type: none"> 鼻から管が入っています(胃管) 手術後、心電図のモニターと酸素のマスクをつけます 手術中、お腹にドレーン(排液管)を入れます 	<ul style="list-style-type: none"> 動ける状況にあわせて呼吸練習とネブライザーを1日3回行います お腹にドレーン(排液管)が入っています 朝、医師が、鼻の管を抜きます モニターと、酸素のマスクをはずします 
検査		<ul style="list-style-type: none"> 必要時、採血があります 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、手術室にて採血レントゲンの検査があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 採血、レントゲンの検査があります 
薬物療法	21時に下剤を内服します	<ul style="list-style-type: none"> 入院後、医師又は看護師が腕に点滴をいれ、24時間行います 10時から2時間かけて2リットルの下剤を内服します 	<ul style="list-style-type: none"> 手術中、首から点滴を入れます 手術中、背中に痛み止めの管を入れます 	<ul style="list-style-type: none"> 腕の点滴を抜き、首の点滴から栄養を入れます。朝、夕と抗生剤の点滴をします(1~3日目まで) 背中の管から痛み止めが持続的に入ります
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院診療計画書をお渡しします 手術後、肺炎予防のため呼吸練習の説明をします 看護師が、入院と手術に関する説明をします 「お腹の手術を受けるかたへ」のパンフレットを貸し出します 	<ul style="list-style-type: none"> 手術に必要な物品を看護師と一緒に確認します 	<ul style="list-style-type: none"> 手術前に家族の方へ手術中の待機方法の説明をします 手術後には家族の方へ医師より説明があります 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> 全身麻酔後の経過がわかる 呼吸練習の必要性がわかり、1日3回行える 術前に必要な検査・処置が終了している 	<ul style="list-style-type: none"> 腹部症状なく下剤内服できる 手術に必要な物品が準備できている 	<ul style="list-style-type: none"> 覚醒し、呼吸状態が安定している お腹の管・胃管より出血がない 痛み、吐き気症状を医療者に伝えられ、苦痛を最小限に押さえることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 痛み、吐き気が軽減され、離床、呼吸練習が行える(呼吸練習は4日目までです)・お腹の管から出る排液の性状・量などに異常がない

* 症状、経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。

2005年5月作成(2019年5月改訂)パス委員会承認 聖隷浜松病院 A5病棟

結腸切除術クリニカルパス

様

	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	術後9.10.11日目	12日目退院	
観察	・傷、腹部、呼吸の状態を観察を行います ・体温、血圧、脈拍を測定します 			・傷、腹部の状態を観察を行います ・体温、血圧、脈拍を測定します 			・傷、腹部の状態を観察を行います ・体温、血圧、脈拍を測定します			
安静	病院内自由に動くことができます 							制限はありません		
食事	医師が指示した後、水分がとれます。		医師が指示した後、流動食が始まります		医師が指示した後、5分菜食になります	医師が指示した後、軟菜食になります	医師が指示した後、普通食になります	普通食 		
	上記は目安の時期です。水分・食事は医師からの指示により開始、変更となります									
清潔	看護師が体をふきます 		(背中の中の管がぬけたら)シャワーを浴びることができます 					入浴することができます 		
排泄	排尿用の管が入っています	排尿用の管を抜きます 尿の量を測定します		流動食が始まったら尿の量の測定を終了します						
診察処置	呼吸練習 ネブライザー 									
	お腹にドレーン(排液管)が入っています		医師がお腹のドレーン(排液管)を抜きます(医師の判断により4~6日の間で) 背中の中痛み止めの管を抜きます 							
検査	採血とレントゲンの検査があります  					採血とレントゲンの検査があります 				
薬物療法	首の点滴から栄養を入れます 朝、夕と抗生剤の点滴をします 背中の中痛み止めが持続的に入ります 		整腸剤等の内服が始まります			首の点滴を抜きます *追加治療をする場合は抜かずに治療をします		整腸剤等を内服します		
説明指導			看護師がシャワーの入りの説明をします 		‘大腸の手術をされた方へ’のパンフレットを貸し出します 		医師から退院前の面談があります(8日目以降)		入浴について看護師が説明します 	
目標	痛み、吐き気が軽減され、離床、呼吸練習が行える (呼吸練習は4日目まで)	術後合併症予防のため、自ら離床できる	シャワーを浴びることができる 飲水ができる 内服の必要がわかる	食事が開始され、お腹の状態が変わらない おならが出る 嘔気・嘔吐がない	食事を摂取できる	食事を摂取する上での注意点がわかる	退院後の生活が理解できる	採血・レントゲンで問題がない 排便コントロールができています		

* 症状、経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。

2005年5月作成(2019年5月改訂)パス委員会承認 聖隷浜松病院 A5病棟